太宰府天満宮

御本殿

仮殿

太宰府天満宮は令和９年（2027）に道真公の薨去されて 1125 年の節目を迎えます。
この年に向け、令和５年より 124 年振りにご本殿の大改修を行っています。
この期間はご本殿前に「仮殿」を建設しご参拝の皆様をお迎えします。

第一回「太宰府天満宮奉納全国俳句大会」に際して

太宰府天満宮は、菅原道真公の御墓所であり、文化芸術の神様として信仰されてきた長い歴史があります。神苑には松尾芭蕉句碑、河野静雲句碑、高濱年尾句碑、夢塚など、俳句との深い係わりが数多く見られます。

俳句は、和歌や連歌に続き、更に日本の四季や言語の美しさを表現して紡いできた文化芸術の一つであると共に、日本人の心を育むために残された大変重要なツールの一つでもあります。

今、茲に太宰府天満宮奉納全国俳句大会を行うことは、俳句文化の新たな起点として、大きな意義のあることであり、歴史的なことであると思われます。また、前権宮司 味酒安則氏の貴重な講演をいただくことで、個々の俳人としても其々の俳句に幅を広げ、素晴らしい時を刻む機会となることでしょう。

令和六年一月吉日

太宰府天満宮奉納全国俳句大会実行委員会
実行委員長　金子清黙（萌黄主宰）

主　催　「萌黄」俳句会
特別協力　太宰府天満宮
後　援　日本航空

問い合せ先事務局　月溪花代　電話　０９０-６４２１-９７５６
石井勝る　電話　０９０-３７３９-７４２４

第一回「太宰府天満宮奉納全国俳句大会」ご案内

皆さまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度第一回太宰府天満宮奉納全国俳句大会を左記の要領で開催することになりました。多くの皆様にご参加くださいますようご案内申し上げます。

◎募集句

投　句　当季雑詠三句一組（何組でも可）
応募料　一組三句　千円
　左記の大会募集句応募用紙とともに、小為替を同封又は現金書留。
　※入選句結果を希望の方は八十四円切手二枚同封のこと。
応募締切　令和六年三月十三日（水）当日消印有効
表　彰　太宰府天満宮表彰、その他
応募先　〒八三〇-一一二二　北野郵便局留
　「第一回太宰府天満宮奉納全国俳句大会」募集句係　上瀧玲子行
入選発表　大会当日
選　者　長谷川櫂（朝日俳壇選者）
　井上泰至（日本伝統俳句協会副会長）
　小澤　實（「澤」主宰）
　川越歌澄（第一回北斗賞受賞）

◎俳句大会

日　時　令和六年五月十八日（土）九時より受付
会　場　太宰府天満宮　余香殿（御本殿左）　太宰府市宰府四丁目七番一号
交　通　西鉄太宰府駅より徒歩五分　※車でお越しの方は周辺駐車場をご利用ください。
吟行地　太宰府天満宮及びその周辺（観世音寺・大宰府政庁跡等）
参加料　一、〇〇〇円（当日受付にて）
投句締切　十二時三十分（吟行句及び当季雑詠　三句）
開　会　十三時
選　者　金子清黙　木下万沙羅　月溪花代　中原南大喜　永田寿美香　味酒安則　（五十音順）

第一部　十一時～十二時（余香殿）
　基調講演　前権宮司　味酒安則氏（当家四十二代）
　「なぜ、梅は飛んだか　菅原道真公の詩歌の世界」
第二部　十三時～十六時（予定）
　俳句大会

✂ - - - - - - - - - - 切り取り線 - - - - - - - - - -

大会募集句応募用紙

・ペン又は、ボールペンにてご記入下さい。
・投句は上段より空けずにご記入ください。
・お一人様何組でも応募できます。
・原寸でコピーしてお使いください。
・※は記入しないでください。

郵便番号	ー
入選句送付	必要（八十四円切手二枚同封）・不要
姓・俳号	ふりがな
	男・女
住　所	都道府県
電話	ー　ー

通し番号（記入しないでください）
※

A	B	C
※	※	※